



## 不安に 応え

## 新型コロナ 影響ますます深刻

# 市民の暮らしを守る



5月下旬、新型コロナウイルスの拡大によって全国に発令された「緊急事態宣言」は全面的に解除されました。しかし、国民への「自粛要請」に対し、安倍自公政権の不十分で遅すぎる対応により、経済的・社会的に立場が弱い人たちほど大きな犠牲を強いられる事態が続いています。日本共産党市議員団は、「自粛と補償はセットで」を貫き、誰もが健康で安心して暮らせる大津市の実現へ、全力を注いでいます。

# 市政へ

### 迅速で実効性のある対応を

大津市は約2週間、市役所本庁舎を閉鎖する事態となり対応が遅れました。党市議員団は討論で、閉鎖に至った経緯や改善点などを市民に公開することを要求。また閉鎖の間、各学区の支所が大きな役割を發揮したことを指摘し、感染症や気象災害など緊急時に各支所で迅速に対応できる体制づくりと、平時から余裕をもって業務を行える市の職

特別定額給付金や衛生用品の確保などの経費と、市独自の、休止中の乳幼児検診に伴うサポート、小規模事業者・個人事業主に対する給付金などの費用が盛り込まれた補正予算が全会一致で可決されました。

## 感染症対策予算

### 全会一致で可決



討論に立つ岸本市議

5月の議会で、国の実施する1人10万円の

員体制の充実を求めました。さらに、感染拡大と医療崩壊を防ぐPCR検査体制の拡充や市民病院への財政支援、収入がなくなった・減ったすべての市民・事業者へのさらなる補償、学校再開後の給食実施、10万円の給付金を一刻も早く届けることなどを強く求めました。

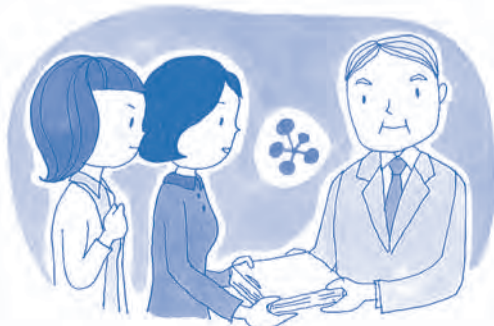
### 新しい体制が決まりました

### 2020年度市議会の委員会担当

|                | 常任委員会  | 特別委員会      |
|----------------|--------|------------|
| 杉浦とも子 (議会運営委員) | 教育厚生   | 公共施設対策・委員長 |
| 岸本のり子 (議会運営委員) | 施設・委員長 | ICT活用対策    |
| たてみち秀彦         | 総務     | 交通対策       |
| 林まり            | 生活産業   | 公共施設対策     |
| 柏木けい子          | 施設     | ICT活用対策    |
| 小島よしお          | 教育厚生   | 交通対策       |

## コロナショックに支援を

日本共産党市議員団は、新型コロナの影響が拡大する状況を受け、3月から随時、市に対し感染防止と支援を求める要望書を提出してきました。10万円特別定額給付金の前倒し支給や学校給食の再開など、不十分ではありますが、市民のみなさんの切実な声に市も対応を変えてきています。党市議員団は、5月29日、さらに学校再開にあたっての対策、特別定額給付金がもれなく行き届くよう具体策を示し要望。議会を通じても提言を行いました。ひきつづき誰も取り残さない対応を求め取り組んでいきます。



## 党市会議員団が緊急要望

### 党市議員団の提言 (5月29日提出分、要旨)

- ①事業者の実態把握と店舗家賃などの固定経費の支援など困難打開策
- ②6か月間の水道料金基本料の免除
- ③子育て世代の経済的支援
- ④高校、大学、専門学校生の経済的支援
- ⑤小中学生のオンライン学習の格差解消
- ⑥福祉施設、事業所への支援と介護・福祉職員への危険手当の創設
- ⑦感染拡大第2波、3波に備えたPCR検査拡充の体制強化

# 安心して過ごさせる学校へ

## 万全の感染予防と子どもたちに寄り添う対応を

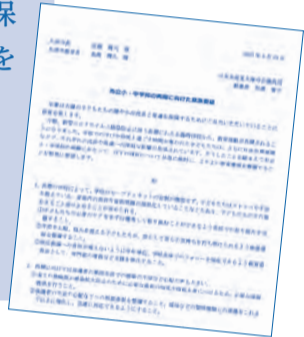
新型コロナウイルス対策で休校されていた市内小・中学校・幼稚園が、6月1日から再開されています。政府の一律休校要請から2ヶ月超、子どもたちは、学校での学びや仲間と過ごす時間を奪われただけでなく、大人でも初めての不安な経験のもとにさらされ、成長・発達への深刻な影響が危惧されています。

いま何よりも、子どものいのちと健康を守ることが求められると同時に、豊かな成長・発達と学ぶ権利をどう保障するのが問われています。日本共産党市議団は、学校再開にあたり、市と教育委員会に緊急要望を行いました。引き続き、子どもと教職員のいのちを



### 学校再開にあたっての党市議団の要望(要旨)

- ①子どもたちの心身のケアを最優先にすること
- ②保護者、教職員を支える相談体制をつくることともに、関係機関との連携強化、情報提供を行うこと
- ③人や教室を確保して少人数指導を実施し、保健・予防体制の徹底など安全に学べる環境を整備すること
- ④学習については機械的な詰め込みにならないよう、子どもの実態を踏まえた現場の自主性を尊重し、柔軟な方法で進めること



※全文は市議団ホームページに掲載

### 給食の再開が決定

教育委員会は、5月中の休校決定後、早々に「1学期中は給食中止」としました。様々な事情を抱えた子どもにとっては栄養バランスの採れた食事の提供を受けられないことは深刻な問題です。多くの市民、市議団からの要望で、6月22日からの再開が決定しました。

### 緊急時だからこそ

## 市民の声を伝える議会を

### 共産党が議会運営について申し入れ

新型コロナウイルスの影響で市民の暮らし・営業は深刻さを増し、支援を求める声とともに、市政の姿や具体的支援策が見えないなどの声が、議会に寄せられています。一方、議

会は感染予防のためとして、4月に「質疑・一般質問は、質疑のみの30分(通常の半分)」「意見書は限定し、提出について議運で協議する」など議会運営の縮小を決定しま



した。しかし、その後「緊急事態宣言」も解除され、党市議団は5月26日の議会運営委員会で「市民生活の困難を打開するために、こういう時だからこそ議会の機能を発揮する必要がある。通常運営に戻すべき」と主張。各会派に申し入れ、一

## 「小規模事業者 応援給付金」

### 支給始まる 大津市

新型コロナウイルス感染症対策として、影響を受けている市内の小規模事業者や個人事業主の事業継続を応援する給付金の支給が決定し、5月25日から申請の受付が始まっています。業種に制限はありません。

しかし、直近1ヶ月の売上額と直近3ヶ月分の合計売上額の両方が、前年同月と比べて30%以上の減少を条件としていることから、条件を緩和するよう改善を求めてきました。市は、委員会質疑で提出書類や直近の判断についても、柔軟な対応を約束しました。あきらめずにご相談ください。

党市議団は引き続き、制度のはざまを取り残されることのないよう支援を求めていきます。

問合せ先・商工労働政策課 528-2754

### もっと市民 応援の予算を!

## 少なすぎる市の 新型コロナ対策費

6月通常会議 補正予算案(市独自)

- ひとり親家庭子育て臨時給付金 6,900万円  
児童扶養手当受給世帯の対象児童1人につき2万円
- PCRセンターの設置・運営経費 528万円
- 感染症対象医療機関への支援金 600万円
- テイクアウト・デリバリー事業導入支援 500万円  
経費の1/2、上限10万円

### みなさんとともに

日本共産党 大津市会議員団



杉浦とも子

090-4491-1522



岸本のり子

080-3116-3877



たてみち秀彦

090-7105-3648



林まり

090-5045-2490



柏木けい子

090-1919-5298



小島よしお

090-5058-2832